

子宮頸がんについてきちんと理解していただけますか？

子宮頸がんとは？

【どんな病気？】

子宮は、女性にしかない特別な臓器のひとつです。この子宮入り口付近、「子宮頸部（しきゅうけいぶ）」にできるがんを、「子宮頸がん（しきけいがん）」といいます。

子宮頸がんになった場合、子宮や子宮のまわりの臓器を摘出しなければならなくなる場合があります。がんが進行した場合、生命そのものとして重大な影響を及ぼすおそれがあります。

【症状や経路は？】

子宮頸がんは、初期には全く症状が無いことがほとんどで、自分で気づくことはできません。そのため、不正出血やおりものの増加、性交のときの出血などに気付いた時には、がんが進行していることも少なくありません。がんが進行すると、子宮をすべて摘出する手術が必要になる事もあり、妊娠、出産の可能性を失い、女性にとって心身ともにおおきな負担となります。



子宮頸がん（HPV）予防ワクチン接種のご案内！

【予防は？】

子宮頸がんの多くは、ヒト・パピローマウィルスの感染によって発症することがわかっています。

子宮頸がんは**定期的な健診**で予防することができ、さらに感染を防ぐために**3回のワクチン接種**を受けていただく事により、原因ウィルスへの感染を防ぐことが可能になりました。

このワクチンは、すでに感染しているHPVを排除したり、子宮頸部の前がん病変やがん細胞を治す効果はなく、あくまでも接種後のHPV感染を防ぐものです。

子宮頸がんを完全に防ぐには、ワクチンの接種だけではなく、定期的に子宮頸がん検診を受けて早期のうちに見つけることが大切です。

ワクチン接種後も、年に一回は子宮がん検診を受けるようにしましょう。



お知らせ（横浜市民の皆様へ）

横浜市では横浜市民の小学校6年生から高校1年生相当の女性の皆様に子宮頸がん（HPV）予防ワクチンを無料（公費負担）で接種できます。

尚、接種対象の方が未成年であるため、保護者の方のサインが必要となりますので、必ずご一緒に来院ください。

※任意の予防接種です。ワクチンの効果、目的、副反応など十分理解した上で接種してください。

詳細はお問合せください。

ご予約は TEL 045-681-5101